

*山科本願寺跡：JR山科駅から南方面へ20分あまり歩くと東本願寺山科別院・西本願寺山科別院がある。また近くの山科中央公園には旧山科本願寺の土塁跡(御土居)が残っている。山科本願寺は蓮如が文明10年(1478年)建設に着手。寺院を中心に寺内町を成し、周囲を土塁と堀で囲んだもので東西800m南北1kmに及んだ。当時の文献には「寺内広大無辺莊嚴ただ仏国のごとし」と記されている。天文元年(1532年)六角氏・法華宗徒に攻められ焼亡。

*蓮如上人御廟所：山階小学校北に蓮如上人御廟所がある。蓮如(1415年～1499年)は浄土真宗本願寺8世で浄土真宗開立の祖。蓮如上人と呼ばれ、北陸では親しみをもち蓮如さん。1471年に吉崎御坊、1483年山科本願寺、大坂に石山本願寺を建立した。北陸、東海、畿内で活発な布教活動を行い、衰微していた本願寺を再興巨大教団発展への基礎を築き山科にて没した。このご廟所を挟んで、江戸時代中期に東・西本願寺山科別院が建立された。

*琵琶湖疎水：疎水事業は明治維新後活気を失った京都に産業を振興し賑わいを取り戻そうと第三代京都府知事北垣国道により計画された。琵琶湖疎水(第1疎水)の完成は1890年(明治23年)。工部大学(現東京大学)を卒業したばかりの田辺朔郎が設計わずか5年で完成。水力発電などに利用され、京都市内に日本初の電気鉄道を開通させるなど京都の近代化に大きな役割を果たした。疎水第2洞門には井上馨・西郷従者道筆の題字が彫られている。

*毘沙門堂：江戸幕府の政治顧問として活躍した僧天海が再興、弟子の公海により1665年に完成した。門跡寺院(格式の高い寺院)。狩野探幽の養子益信作の、見る角度により目や顔の向きが変わる「天井の龍」や逆遠近法で描かれた「宸殿の襖絵」は必見。春は桜・秋は紅葉の美しい山科の古刹。天台宗寺院で本堂には本尊毘沙門天、家康座像が安置されている。

*安祥寺：9世紀の中頃、仁明天皇の後藤原順子(のぶこ)の発願により僧恵運が開いた寺。昔は上寺と下寺があり山科北部に広大な敷地を占めており、江戸時代に一部が毘沙門堂となる。現在は疎水の傍に趣のある佇まいをとどめている。(境内非公開)高野山真言宗の寺院。

大本山本圀寺：日蓮聖人により鎌倉の地に創建後、秀吉の姉日秀尼(につしゅうに)等により復興された寺。昭和44年(1969年)に山科に移転、最近美しく整備された。加藤清正の祈願所・菩提所で清正廟(眞生廟)もある。経蔵は重要文化財。鐘の寄進者に日秀尼等の名がある。清正寄進の赤門(開運門)をくぐると勝負運や出世運に御利益があるといわれている。

天智天皇陵：古墳時代末期のもので、正八角形の形をしている。天智天皇(626年～671年)が山科の森での狩猟後行方不明になり、沓発見場所に墓が築かれたとの説も。入口左手にある日時計は、天智天皇が日本で最初の水時計を作ったと伝わることから設置された。